

〔板橋区中小企業診断士会 一泊研修旅行 報告〕 ～茨城県小美玉市&かすみがうら市訪問記～

城北支会 小澤 栄一

eichan@cl.cilas.net

板橋区中小企業診断士会が毎年実施している一泊研修旅行に、今回、初参加した。

今年は、10月7日(金)・8日(土)の1泊2日で、茨城県小美玉市とかすみがうら市を訪れ、地域の地場産業見学や産業活性化の取り組みを学ぶ旅となった。

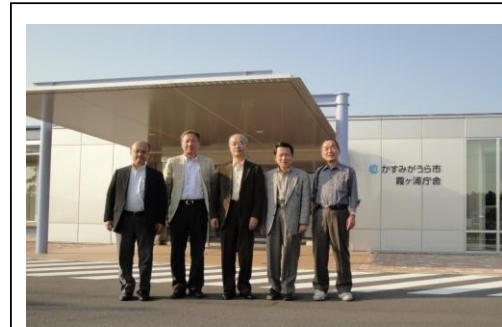
最初の訪問先は、小美玉市にある「タカノフーズ株式会社」の水戸工場であった。納豆の市場シェア 30%超のトップ企業であり、東京ドームの広さの敷地にある納豆博物館・納豆工場を見学した後に、新商品の試食をさせて頂いた。「販売用の容器に大豆を小分けした後で発酵させている」という納豆の製造工程は、意外であった。

昼食は、かすみがうら市の観光・農産物・加工品の統一ブランド「湖山の宝」を冠する、市内15店舗の「おもてなしハンバーグ料理の店」のひとつ「レストランボンジュール」。ここで、皇室への献上米として名高く、「まぼろしの米」とも言われる「北条米」の新米と、地元食材をふんだんに使った本格ハンバーグを賞味した。

続いての訪問先は、「福田グリーン農園」。かすみがうら市観光商工課の係長にも同行頂き、果物狩りをしながら、農園の代表の方の説明を受けた。地場産業の果樹園では、栗・梨・柿・葡萄・ブルーベリー等を栽培しているが、福島原子力発電所の風評被害を受け、観光客は3分の1程度にまで減少し困っているとのことであった。

初日の最後の訪問先は、「かすみがうら市役所霞ヶ浦庁舎」。屋根にソーラーパネルを設置し、バリアフリー仕様の平屋建てのモダンなデザインの建物には驚かされた。

観光商工課の皆様との懇談会を開いて頂き、企業立地促進事業や住宅リフォーム助成事業の説明を受けた。市の施策を中小企業へどうやって漏れなく伝えるかが課題とのことであった。



モダンな市役所庁舎前で記念撮影

2日目の最初の訪問先は、「千代田エンジニアリング株式会社」。当社は、ネイバーフッド型ショッピングセンターである「千代田ショッピングモール」を運営している。事業規模は、売場面積：約1万6千㎡、駐車台数：1,242台、入店数：小売業10店・サービス業3店である。地元客を大切に、高齢者にも配慮し、必需品を揃え、「1週間に1回は来てもらえるショッピングセンター」を目指しているとのことであった。

昼食は、霞ヶ浦の湖畔の「魚野川」にて、地元食材の「かすみがうら市産コシヒカリ」と「ひたち絹豚」のハンバーグを賞味した。

その後は、霞ヶ浦ふれあいランド/玉造虹の塔(展望台)→道の駅→郷土資料館→水族館と巡り、かすみがうらエリアの景色・産物・文化を堪能した。そして、地域に根ざした活動の話地元の方に伺い体感する、今回の貴重な機会に名残惜しみつつも、帰途についたのであった。